

[軽吐]S-1+ドセタキセル療法(stageⅢ、術後補助)

外科 管理番号 RSB026

処方医:

適応: 胃癌stageⅢ、術後補助療法

サイクル1	S-1単独80mg/m ² day1-14(3週間)
サイクル2-7	当レジメン、3週ごとに6コース繰り返す
サイクル8以降	S-1単独80mg/m ² day1-28(6週毎) 術後1年まで

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
ドセタキセル	●																						●
S-1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									●

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ クール目)

Day1(月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食250mL [90分 点滴静注]	1瓶	生食50mL デキサート注 [30分 点滴静注]	1瓶 6.6mg
		生食250mL ドセタキセル40mg/m ² [1時間 点滴静注][壊死性] アレルギー症状注意 特に初~2回投与時 ほぼ10分 以内 投与中1時間観察	1瓶
		生食20mL [静注]	1管

DAY1(月 日)~3(月 日)

薬剤名	投与量
デカドロン錠	1回4mgを4回内服(当日昼食後、翌日朝食後、翌日昼食後、翌々日朝食後)

Day1(月 日)~Day14(月 日)

薬剤名	投与量
【内服】S-1 80mg/m ²	2×朝夕食後

[適正使用基準]

1. PS(Performance Status)が0~2である		
2. 重篤な感染症を合併していない		
3. 重篤な骨髄抑制がない		
4. 重篤な腎障害がない		
5. 劇症肝炎等の重症な肝障害がない		
6. 5-FUを投与されていない		
7. フルシトシンを投与されていない		
8. S-1が7日以上休薬期間がある		
9. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。		
血液一般検査	WBC (/μL)	4000 ≤
	Neut (/μL)	1600 ≤
	PLT (/μL)	15万 ≤
	HGB (g/dL)	11.0 ≤
血清生化学検査	GOT (IU/L)	≤40
	GPT (IU/L)	≤35
	TBil (mg/dL)	≤1.2
	BUN (mg/dL)	≤20
	Cr (mg/dL)	≤1.1

[DLF]

S-1 骨髄抑制
ドセタキセル 白血球減少
好中球減少ドセタキセル: 肝障害時用量調節
S-1: 腎障害時用量調節ドセタキセル [今回の投与量]
mg/body
[累積投与量]
mg/body

ドセタキセル

[骨髄抑制を考慮した投与量の調節]

WBC (/μL)	4000≧	2000≧	<4000	<2000
HGB (g/dL)	11.0≧	8.0≧	<11.0	<8.0
PLT (/μL)	10万≧	5万≧	<10万	<5万
ドセタキセル	100%	慎重投与		投与中止

[S-1]

Ccr (mL/min)	80>以上	50-80	30-50	<30
S-1	減量なし	20%減量	30%減量	中止

[DLFを除く重大な副作用]

《ドセタキセル》

- ・ショック、アナフィラキシー様症状
- ・間質性肺炎
- ・心不全
- ・播種性血管内凝固症候群(DIC)
- ・腸管穿孔、胃腸出血
- ・浮腫・体液貯留
- ・心筋梗塞

S-1

- ・脱水症状
- ・重篤な腸炎
- ・間質性肺炎
- ・重篤な口内炎、消化管潰瘍、消化管出血、消化管穿孔
- ・急性腎不全
- ・皮膚粘膜症候群、中毒性表皮壊死症
- ・白質脳症
- ・臭覚脱失
- ・眼症状(流涙、充血、かすみ目)